

1月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/01/16 (水)	東京はFRB緊急会合の噂を受けてドルが急落、OP絡みの損失を巻き込みドルは急落へ。欧米はチェスの決算が予想よりも良かったことやルクセンブルグ総裁の発言からユーロドルが急落。	・12月の国内企業物価指数0.4%、11月機械受注 2.8% ・FRB緊急会議召集の噂 ・12月の米CPIは0.3%、同鉱工業生産0.0%、同設備稼働率81.4、11月の対米証券投資1499億ドル	・中国人民銀行「預金準備率を0.5%引き上げ、25日から実施」 ・ルクセンブルグ中銀総裁「景気下振れリスクが上昇」 ・米地区連銀報告「米経済成長ペースは一層緩やか」	106.77 107.95 105.92 107.63	158.07 158.48 156.29 157.70	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/17 (木)	東京はFRB議長の議会証言を控えやや動きにくい。ただドルリッジ決算への警戒感などからドル弱含み。欧米は結果円独歩高。FRB議長発言は新味なく影響限定的。しかしドル決算が悪くドル売りに繋がった。	・11月の鉱工業生産確報 1.6% ・12月の米住宅着工件数100.6万戸、同許可106.8万戸、1月のFF連銀業況指数 20.9	・ルクセンブルグ中銀総裁「ECBは利下げをする可能性について慎重」 ・HH高官「米大統領は18日に景気刺激策方針公表へ」 ・FRB議長「追加利下げは必要」	107.37 107.87 106.54 106.54	157.43 157.85 155.95 156.00	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/18 (金)	東京は米景気刺激策発表と同時に緊急利下げが実施されるとの噂からドル買い優勢。107円台へ。欧米は米景気刺激策が失望に終わったことで一転ドル売り。ただ仏銀へのサブプライム損失の噂が下支え。	・11月の第三次産業活動指数0.1% ・FRB緊急利下げの噂 ・12月の米景気先行指数 0.2%、1月のシカゴ大消費者信頼感指数 80.5 ・仏系大手銀にサブプライム損失の噂	・独連銀総裁「物価リスクは上向き」 ・米大統領「景気刺激策はトータルでGDPの1%にあたる1400億ドル規模」	106.42 107.60 106.39 106.87	155.80 157.80 155.76 156.25	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/21 (月)	東京は引き続き仏銀損失の悪感くすぶユーロが買えない。日経平均が500円以上下げたこともあり円高。欧米はNY休場で薄商いとなるなかユーロ続落。WSJ紙報道などもあり欧州株価買えず。円独歩高の様相。	・現地紙「中国銀行がサブプライム関連で巨額の評価損を計上見通し」 ・11月景気先行指数確報値18.2 ・WSJ紙「バンクがカンリワイドとの契約を解消する可能性」	・カタル財務相「ドルヘッジ制の見直しをいずれかの段階で検討する」 ・IMF専務理事「世界経済は深刻な状況にある」	106.90 106.98 105.67 105.98	156.04 156.07 152.84 153.18	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/22 (火)	東京は前日にも増して株価急落。ついに下げ幅は750円を超えた。ただし円高も取り敢えずは限定的。欧米は事前からある程度噂されていたがFRBが緊急大幅利下げに動いたことを好感、一転円独歩安。	・日銀決定会合は全会一致で金利据え置き決定 ・米国が緊急はFOMCを開催、0.75%の利下げを発表 ・1月の米リッチモンド連銀指数 8	・額賀財務相「為替市場の大規模介入は考えていない」 ・福井日銀総裁「先行き判断は微妙な局面にきている」 ・米政府報道官「米大統領、景気刺激策は1500億ドル以上の規模も」	105.67 107.05 105.61 106.45	152.36 156.45 152.10 155.73	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/23 (水)	東京は円続落でスタート。しかし、モーゲージ破綻の噂を受け流れが一変。再び円の買い戻し高まる。欧米は円買い止まらず、一時105円を割り込む局面も。ただ、その後はモライシ救済期待などから急反発。	・米モーゲージ会社破綻の噂 ・ECB緊急利下げの噂 ・1月BOE議事録「8対1で政策金利を据え置き」 ・第4四半期の英GDP速報値0.6%	・ECB総裁「インフレの波及効果を防ぐことが必要」 ・「NY当局がモライシ救済のため銀行などと話し合いを持った」との報道 ・加財務相「2月東京G7では金融市場混乱に焦点」	107.10 107.38 104.95 106.72	156.84 157.15 152.79 156.13	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/24 (木)	東京は欧州銀で損失計上の噂やモライシ救済難航などの噂などを巡り右往左往。上下に激しい値動き。欧米は米政府と議会が景気刺激策で暫定合意下との報道を好んだドルの買い戻し優勢。	・12月の貿易黒字8778.72億円 ・モライシ救済は難航、との一部噂 ・仏銀リソエテがトローダーの不正行為で49億ユーロの損失を公表 ・1月の独IFO景況指数103.4 ・12月の米中古住宅販売489万戸	・スペイン経済財務相「ECBのなかで利下げを巡る深刻な議論がある」 ・独連銀総裁「ECBの金利は依然緩和的」 ・米政府「議会と緊急景気刺激策の骨格、基本合意へ」	106.75 107.20 105.94 107.17	156.15 158.25 154.85 158.13	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/25 (金)	東京は一部英紙を受けたモライシ懸念後退観測から円が弱含み。日経平均の大幅高も円売りに拍車。欧米は欧州系金融機関の損失懸念や追加米利下げ観測が嫌気され、結果円高へ。最高値圏で越週。	・12月の消費者物価0.2% ・欧州金融機関で損失発表の噂 ・米著名情報社が「FRBは50BPの追加利下げ」のレポート送信の噂	・一部英紙「米著名投資家ウィルバーフォース氏がAMBA買収の可能性」 ・独連銀総裁「資金交渉妥結水準が過剰となればECBは利上げ必要」	107.18 107.90 106.72 106.72	158.32 159.14 156.55 156.66	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/28 (月)	東京は日経平均が500円以上下落したうえ、中国やインドの株価も大幅安。「悪い円高」進む。欧米は東京から流れ一変。米一般教書演説に関する期待感などからドル買い優勢。米株も小高い。	・12月の米新規住宅販売60.4万戸	・ブラチフワールBOE委員「物価の上振れリスクがあるが、景気の下振れリスクの方が大きい」 ・仏中銀総裁「米利下げはリソエテの損失と関連なし」	106.77 107.04 106.00 106.90	156.86 158.35 155.56 158.02	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/29 (火)	東京は月末に向けたドル売り需給や一般教書が失望に終わったとの見方から円買い優勢。欧米はモルガンに対する噂がドル買いの足かせとなるも米経済指標の良さなどからドル小高い。	・12月の全世帯消費支出2.2%、同完全失業率3.8% ・12月の米耐久財受注5.2%、同ISM製造業指数・修正48.4 ・JPELが「デリバティブ取引で巨額損失の噂(のちに否定される)」	・米大統領が一般教書演説 ・平野前日銀理事「為替のG7声明、変える要素はない」 ・米下院「総額1460億ドルの景気対策法案を可決」	106.98 107.25 106.38 107.08	158.17 158.35 157.13 158.23	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/30 (水)	東京はFBI捜査との報道から嫌気した円買い優勢。また欧州金融機関の損失観測も後押し。欧米はADP全米雇用報告が良好でドル買い材料に。しかし米利下げによる金利差縮小でドル売り優勢。	・12月鉱工業生産速報1.4% ・第4四半期の米GDP速報値0.6%、同個人消費2.0%、同コアPCE価格指数2.7%、1月のADP全米雇用報告13.0万人 ・FOMCで米国は0.5%利下げ実施	・「FBIがサブプライム問題に関連して14社の捜査開始」 ・カタル首長経済顧問「ドルヘッジ制の見直しを検討」 ・フィッチがFGICの格下げ発表、MBIAとAMBACの格下げ間近との報道も	107.08 107.47 106.22 106.28	158.14 159.50 157.41 157.94	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/31 (木)	東京はロス氏による報道を好んだ円売り先行。投信絡みの円売りも円安を支援。欧米は揉み合い。材料多過ぎて逆	・1月の独失業率8.1%、同失業者数 8.9万人 ・12月の米個人所得0.5%、同個人支出0.2%、同コアPCE0.2%、1月のシカゴ	・米著名投資家ロス氏がモライシへ15億ドルの出資検討」報道あり ・ルクセンブルグ首相「一段のユーロ高は輸出企業に打撃」	106.22 106.88 105.71	157.50 158.72 156.69	24H 寄付 安値 高値

にマト絞れず。ただ米経済指標はやや悪いものが多い。	購買部協会指数51.5、第4四半期雇用コスト指数0.8%	・S&P「FGICを格下げ」	106.47	158.24	終値
---------------------------	------------------------------	----------------	--------	--------	----

* 製作・著作; 「FXニューズレター」 URL; <http://www.fx-newsletter.com/>

FX-newsletter